

令和7年度 次世代創出PBL推進事業
実施報告書【学校課題実践校用】

学校番号	15
学校名	富山県立富山工業高等学校

学校の現状と課題	本校では、各科の特色ある学習活動を通して、専門知識や技術を習得した職業人の育成を図っている。現代の抱える問題を身に付けた技術によって、解決に導くための新たな方法を模索していくことができ、技術者としての資質を身に付けさせる教育を行っていく必要がある。	
テーマ(特色)	「ものづくり」を通じた課題解決能力の育成	
設定した「テーマ」の達成状況	チームとして物事を解決するために必要な計画や、修正していく力を段階的につけていくことができていたように思う。 一人ひとりの考える事が異なっているので意見の擦り合わせが難しいようであったが、コミュニケーションが取れていくと解決に近づいて行った。	
実施内容 (具体的に記入する)	①環境問題に対して、どのようなアプローチをかけていくかを考察 ②テーマの決定後、材料硬度実験、設計図の作成を経て作成に着手していく ③材料の決定SS材・SUS材 ④製品の作成 ⑤発表原稿・レジメの作成	
取組による成果 (プロジェクト学習推進の観点から)	課題理解の深化 豪雪が地域住民の生活に与える影響について、文献調査を通じて具体的に把握した。 除雪の人手不足や高齢化といった構造的課題が存在することを確認した。 単なる積雪量の問題ではなく、「生活動線の確保」や「安全管理」が重要であるという視点を共有できた。 実現可能性の検討 提案内容について、費用面・安全面・運用面から実現可能性を整理した。 現段階で実装に至っていない部分についても、今後の検討課題を明確化した。	
対象者(学年・人数など)	2学年 3名	
実施実績	4月	テーマの設定
	5月	材料の選定
	6月	設計図の作成
	7月	機構の再設計
	8月	作成・実験・評価・改善
	9月	
	10月	
	11月	
	12月	プレゼンテーション資料作成・発表練習
	1月	発表本番
	2月	
	3月	